

さらに従事希望有無のアンケートと研修案内を送付した。

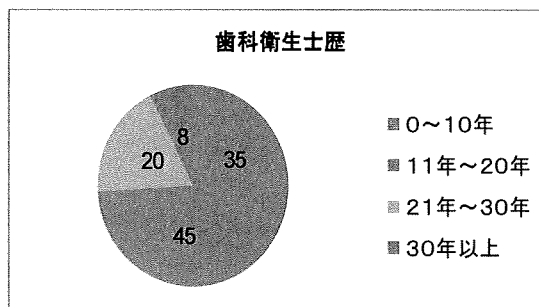
2. 人材育成に関する事業

1) 研究会開催

(1) 口腔機能向上に関する研修会を開催

3. 当サービスの普及啓発に関する事業

啓発媒体作成を実施した。



C. 研究結果

1. 歯科衛生士人材確保に関する事業

1) アンケート調査集計結果

[回収率] 36.8% 398名/1080名

[調査内容集計の概要]

① 行政にて健診業務等の臨時職員 62% (複数回答可)

歯科診療所等パート従事者 55%

その他 7%

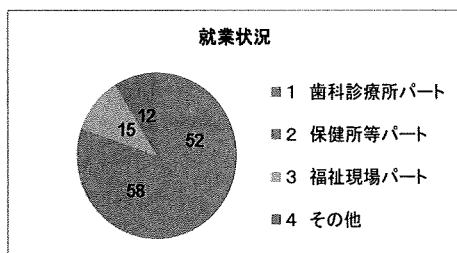
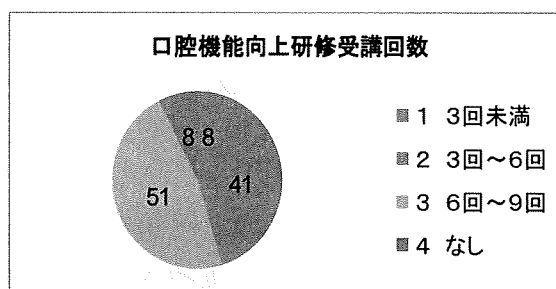
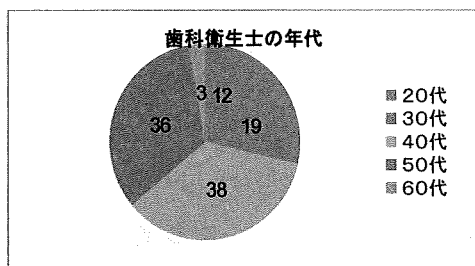
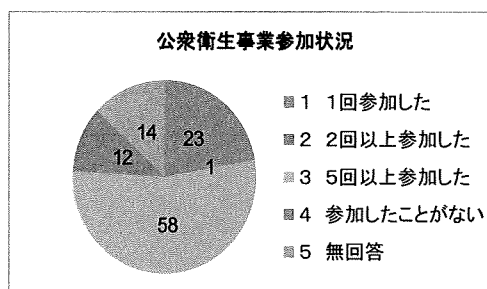
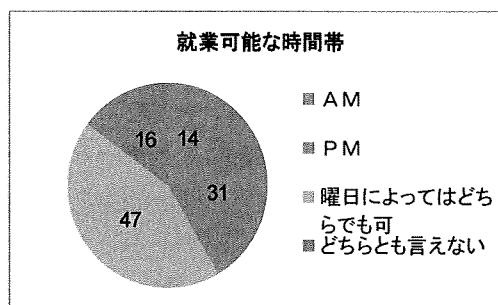
② 希望する = 108名

希望しない = 153名

どちらともいえない = 121名

無回答 = 16名

③④は省略



2) 未入会歯科衛生士における人材確保

中日新聞(このエリアのもっとも購読されている地元紙)の3月11日付けの朝刊に人材確保の募集を掲載した。

2. 人材育成に関する事業

1) 研修会 3回開催

受講者数 延べ 146名

開催日および開催場所	内容	受講者数
平成21年12月13日(日) PM1:00 ~ PM4:00 愛知県歯科医師会館	【テーマ】 口から始まる健康づくり 【講師】 星丹二先生 (首都大学東京教授)	25名
平成21年12月20日(日) AM9:00 ~ PM4:00 愛知県歯科医師会館	【テーマ】 フィジカルアセスメント 【講師】 山内豊明先生 (名古屋大学医学部教授)	93名
平成22年2月28日(日) PM1:00 ~ PM2:00 名古屋開運堂ホール	【テーマ】 口腔機能向上の実践 【講師】 三浦宣子 池山豊子	28名

口腔機能の低下でみられる症状

(以下の様な症状がみられた場合に、口腔機能の低下が疑われます)

- ① お茶や汁物などでむせる (嚥下機能の低下が疑われます)
 - ② 食後に声がかすれたり、ガラガラ声になる (嚥下機能の低下が疑われます)
 - ③ パン、芋類、のりなど飲み込みにくい食べ物がある (嚥下機能、唾液分泌の低下が疑われます)
 - ④ 口が渇く (唾液分泌の低下が疑われます)
 - ⑤ 痰がよくからむ (嚥下機能の低下が疑われます)
 - ⑥ 食べこぼしをする (身体機能、口唇の筋力の低下が疑われます)
 - ⑦ よだれがよく出る (嚥下機能、口唇の筋力の低下が疑われます)
 - ⑧ 食後に口の中に食物や薬が残っている (舌・口唇・頬の運動機能、唾液分泌、嚥下機能などの低下が疑われます)
 - ⑨ 舌に汚れが多い (舌の運動機能、唾液分泌の低下が疑われます)
- *その他の症状として
- ・食事の時間が長くなる
 - ・食事中に疲れて休む
 - ・食事の量が減ってきた
 - ・発熱や肺炎をくり返す

3. 当サービスの普及啓発に関する事業

1) 介護保険事業所向けのリーフレット作成

[印刷部数 5000部予定]

[内容の項目] ①口腔機能とは ②口腔機能が低下すると ③口腔機能向上のための訓練とは ④「口腔機能向上加算」の方法

[配布対象] 該当する介護保険事業所

[配布時期] 平成22年4月中旬

～口腔機能お役立ちガイド～(仮題)

口のはたらき



それぞれのはたらき

- 唇**・・・発音をはっきりさせる・食べ物を捕らえる・温度を感じる
- 歯**・・・口元の輪郭をつくる
- 前歯**：噛み切る・“さしすせそ”をはっきり発音する
- 奥歯**：噛み砕く・踏ん張る、力を入れるなど姿勢を維持する
- 舌**・・・発音をはっきりさせる・味わう
- 食べ物や歯の上に運ぶ
- 唾液と食べ物を混ぜ合わせる
- 食べ物を食道へ送り込む
- 頬**・・・食べ物を歯の上からこぼれないようにする
- 唇、歯、舌、頬**が協調して働くことで、発音が構成され食べ物を飲み込む準備がなされます
- 筋肉**・・・口の周りや首の周りには、口を開けたり閉じたりするときに働く筋肉や食べ物を飲み込むときに働く筋肉がたくさん集まっています
- 唾液**・・・唾液には消化を助ける作用、味覚を促進する作用、食べカスを洗い流す作用、会話や発音をスムーズにする作用、細菌の繁殖を抑える作用など、さまざまな作用があります。また十分な唾液が出ることで食事の飲み込みをスムーズにします

口腔ケアの大切さ

口の中には300種～400種の細菌が1000億以上存在します。口の中は温度・湿度がそなわっているため、食べカスが栄養となり菌が非常に繁殖しやすい環境です。歯や粘膜、入れ歯の清掃をする口腔ケアはこうした細菌を取り除くために重要です。

入れ歯の裏側には細菌がびっしり付着しています

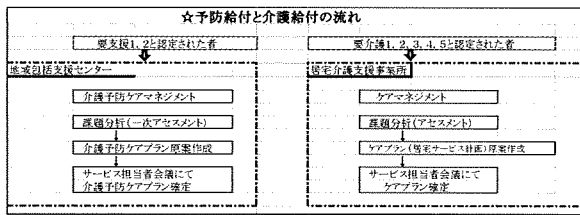
口腔機能向上訓練の実例

訓練方法	訓練内容	対応する症状
口唇訓練	歯・口腔粘膜・舌などの清掃 義歯の清掃 など	嚥下困難 唾液分泌低下 口腔乾燥 舌の運動機能低下 など
嚥下訓練	深呼吸 首・肩の運動 口唇・頬の体操 舌の体操 発音訓練 唾液腺マッサージ など	嚥下困難の低下 唾液分泌の低下 口腔乾燥の低下 身体機能の低下 など
嚥下訓練	咳嗽訓練 含嗽 アイスマッサージ など	嚥下困難の低下 唾液分泌の低下 口腔乾燥の低下 など
食支援	姿勢・食形態・食具の改善 など	嚥下困難の低下 身体機能の低下 など



施設入所80才の女性 Aさん
食事に1時間あまりを要し、むせが頻発にあった。微熱を繰り返し、誤嚥性肺炎で入院することもあった。
その後歯科衛生士の指導のもとで、介護職員が起床時と毎食後、口腔清掃の訓練を行い、嚥下体操も食前に無理のない程度に行った。それと同時に、首・肩・腕のストレッチなども改善した。およそ6ヵ月後には食事の時間短縮がみられ、むせがほとんどなくなった。そして、微熱も出ることが少なくなった。誤嚥性肺炎も発症しなくなった。

* 施設におかれた口腔機能向上訓練を継続することで、QOLの向上へ繋がります。
詳細は愛知県歯科衛生士会へご相談ください。



うに当たり、歯科衛生士、事業所の理解と協力が得られ、準備態勢が整備された。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

1) 第16回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 発表予定

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

D. 考察

本会では当事業における歯科衛生士の役割を重要なものと捉え、開始前の平成17年度から「口腔機能」に関する研修会を数多く開催し、会員への当事業の啓発並びに知識と技術の普及を図ってきた。平成18年度の当事業開始には県内の介護保険事業所に向けて、サービスに従事する歯科衛生士紹介の案内を発送し、会員の就業につなげた。その後も本会への介護保険事業所からの歯科衛生士紹介要請等は引き続きあったものの、人材不足から十分に応じられる状況ではなかった。

そこで本調査は、会員の中から新たな人材を求めることで当事業の発展を目指すことを目的とした。調査結果から、当事業に参加希望のある、新たな人材を把握できたと考えられる。今後はこれらの人材を研修等で育成することで、慢性的な人材不足解消の可能性が示された。

E. 結論

具体的なモデル事業実施の効果検証を行

厚生労働省科学研究

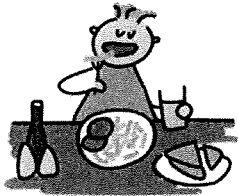
「介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する長寿科学総合研究事業」

研修会開催一覧

開催日および開催場所	内容	受講者数
平成21年12月13日(日) PM1:00～PM4:00 愛知県歯科医師会館	【テーマ】 口から始まる健康づくり 【講師】 星丹二先生 (首都大学東京教授)	25名
平成21年12月20日(日) AM9:00～PM4:00 愛知県歯科医師会館	【テーマ】 フィジカルアセスメント 【講師】 山内豊明先生 (名古屋大学医学部教授)	93名
平成22年2月28日(日) PM1:00～PM2:00 名古屋開運堂ホール	【テーマ】 口腔機能向上の実際 【講師】 三浦宣子 池山豊子	28名

～口腔機能お役立ちガイド～(仮題)

口のはたらき



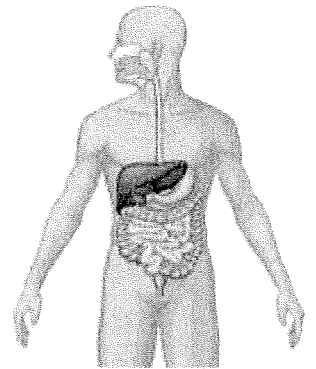
食べる
食事はエネルギーの源



話す
会話は生活の潤い

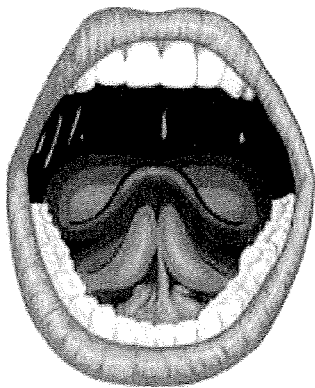


表情をつくる
歯や入れ歯が口元を若々しくする



口は消化管の入口であり
気管へ通じる道でもある

それぞれのはたらき



くちびる

唇・・・発音をはっきりさせる・食べ物を捕らえる・温度を感じる

歯・・・口元の輪郭をつくる

前歯: 噛み切る・“さしすせそ”をはっきり発音する

奥歯: 噛み砕く・踏ん張る、力を入れるなど姿勢を維持する

舌・・・発音をはっきりさせる・味わう

食べ物を歯の上に運ぶ

唾液と食べ物を混ぜ合わせる

食べ物を食道へ送り込む

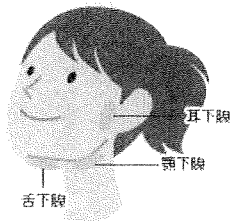
頬・・・食べ物を歯の上からこぼれないようにする



唇、歯、舌、頬が協調して働くことで、発音が構成され
食べ物を飲み込む準備がなされます

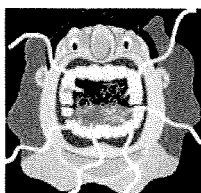


筋肉・・・口の周りや首の周りには、口を開けたり閉じたりするときに働く
筋肉や食べ物を飲み込むときに働く筋肉がたくさん集まっています



唾液・・・唾液には消化を助ける作用、味覚を促進する作用、食べカスを
洗い流す作用、会話や発音をスムーズにする作用、細菌の繁殖
を抑える作用など、さまざまな作用があります
また十分な唾液が出ることで食事の飲み込みをスムーズにします

口腔ケアの大切さ



口の中には300種～400種の細菌が1000億以上存在します
口の中は温度・湿度がそなわっているため、食べカスが
栄養となり菌が非常に繁殖しやすい環境です
歯や粘膜、入れ歯の清掃をする口腔ケアはこうした細菌を
取り除くために重要です



入れ歯の裏側には
細菌がびっしり
付着しています

口腔機能の低下でみられる症状

(以下の様な症状がみられた場合に、口腔機能の低下が疑われます)

- ① お茶や汁物などでむせる (嚥下機能の低下が疑われます)



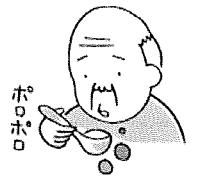
- ② 食後に声がかすれたり、ガラガラ声になる (嚥下機能の低下が疑われます)



- ③ パン、芋類、のりなど飲み込みにくい食べ物がある
(嚥下機能、唾液分泌の低下が疑われます)

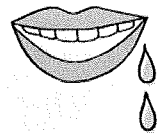
- ④ 口が渇く (唾液分泌の低下が疑われます)

- ⑤ 痰がよくからむ (嚥下機能の低下が疑われます)



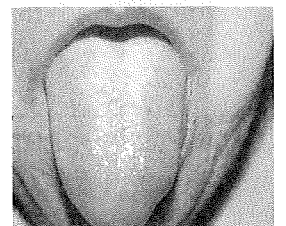
- ⑥ 食べこぼしをする (身体機能、口唇の筋力の低下が疑われます)

- ⑦ よだれがよく出る (嚥下機能、口唇の筋力の低下が疑われます)



- ⑧ 食後に口の中に食物や薬が残っている
(舌・口唇・頬の運動機能、唾液分泌、嚥下機能などの低下が疑われます)

- ⑨ 舌に汚れが多い (舌の運動機能、唾液分泌の低下が疑われます)



*その他の症状として

- ・ 食事の時間が長くなる
- ・ 食事中に疲れて休む
- ・ 食事の量が減ってきた
- ・ 発熱や肺炎をくり返す



など



口腔機能向上訓練の実際

訓練方法	訓練内容	対応する症状
口腔清掃	歯・口腔粘膜・舌などの清掃 義歯の清掃 など	嚥下反射の低下 唾液分泌の低下 口唇閉鎖力の低下 身体機能の低下 口腔感覚の低下 など
嚥下体操	深呼吸 首・肩の運動 口唇・頬の体操 舌の体操 発音訓練 唾液腺マッサージ など	嚥下反射の低下 唾液分泌の低下 口唇閉鎖力の低下 身体機能の低下 など
嚥下訓練	咳嗽訓練 含嗽 アイスマッサージ など	嚥下反射の低下 唾液分泌の低下 口唇閉鎖力の低下 など
食支援	姿勢・食形態・食具の改善 など	嚥下反射の低下 身体機能の低下 など



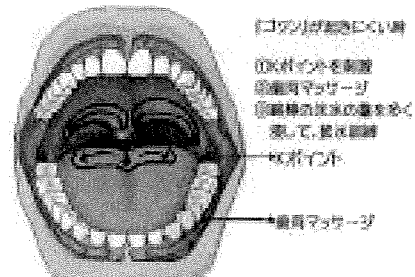
咳嗽訓練（咳ばらい）



嗽 ブクブク



ガラガラ



アイスマッサージ

口腔機能向上訓練にて改善した例

施設入所の80才の女性 Aさん

食事に1時間あまりを要し、むせが頻繁にあった。微熱を繰り返し、誤嚥性肺炎で入院することもあった。

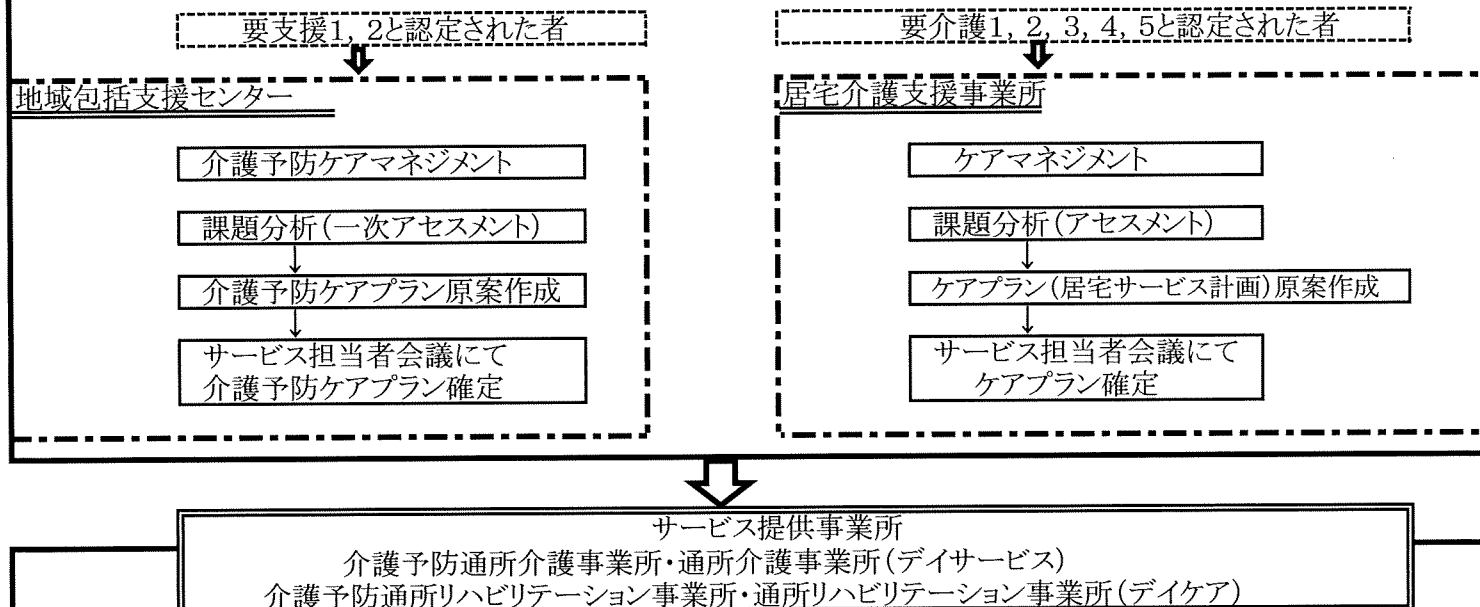
その後歯科衛生士の指導のもとで、介護職員が起床時と毎食後の口腔清掃の徹底化に努め、嚥下体操も食前に無理のない程度に行った。それと同時に、食事の姿勢や食物形態なども改善した。

およそ6ヵ月後には食事の時間も短くなり、むせが少なくなった。そして、微熱も出ることが少なくなり、誤嚥性肺炎への危惧が減ったと思われる。

* 症状にあった口腔機能向上訓練を継続することで、QOLの向上へ繋がります。

詳細は愛知県歯科衛生士会へご相談ください。

☆予防給付と介護給付の流れ



☆口腔機能向上サービスの例

- 【対象者】
- ・予防給付(要支援1, 2の高齢者で口腔機能の低下している者またはそのおそれのある者)
 - ・介護給付(要介護1~5の高齢者で口腔機能の低下している者またはそのおそれのある者)

【口腔機能向上加算】

- ・予防給付(150単位/月)
- ・介護給付(150単位/回 ・月2回限度)

【担当職種】

- ・専門的サービス: 専門職種(歯科衛生士、看護師、言語聴覚士)
- ・基本的サービス: 関連職種(介護職、その他)



【実施内容】

専門的サービス(月1~2回)

- ☆口腔機能向上訓練法の指導・実施
- ☆口腔・義歯清掃法の指導・実施
- ☆歯科保健の教育・相談など

基本的サービス(毎回)

- ☆日常的にできる口腔機能向上訓練の実施
- ☆日常的な口腔清掃の実施
(セルフケアの介助、自立支援)

【実施手順】

(3か月間の流れ)

- ①事前アセスメント(利用者の口腔機能状況と口腔清掃状況を把握する)
- ②口腔機能改善管理指導管理計画作成
(「介護予防通所介護(またはリハ)計画書」及び「通所介護(またはリハ)計画書」に口腔機能向上の計画が記載されている場合は不要)
- ③サービス担当者会議開催
- ④本人または家族の同意
(「介護予防通所介護(またはリハ)計画書」及び「通所介護(またはリハ)予防計画書」に同意を得ている場合は不要)
- ⑤サービスの提供開始
- ⑥改善状態などの把握(関連職種が適宜行う)
- ⑦モニタリング(専門職種が月1回行い、プランの妥当性の検討を行う)
- ⑧事後アセスメント(専門職種が目標の達成度および口腔機能状況、口腔清掃状況を把握し、評価する)
- ⑨報告(居宅介護支援事業所および地域包括支援センターのケアマネジャーに報告)
- ⑩サービスの継続または終了を決定

*参考文献:「口腔機能向上マニュアル」分担研究班作成「口腔機能向上マニュアル」(改定版)

平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）
分担研究報告書

「介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関するモデル事業」

研究代表者 菊谷 武 日本歯科大学 准教授 口腔介護・リハビリテーションセンター長
研究分担者 植田耕一郎 日本大学歯学部 摂食機能療法学講座 摂食機能療法学 教授

研究要旨

本研究は、口腔機能向上サービスの普及のために必要な人材確保と職業紹介のモデルを構築することを目的としておこなった。対象は福岡県歯科衛生士会会員および介護保険事業所とした。事業内容は、1. 通所施設におけるモデル事業立ち上げ、2. 歯科衛生士見学研修の実施、3. 口腔ケア関係の研修受講歯科衛生士への求職、4. 歯科衛生士求職者の検索システムの作成、5. 口腔機能向上サービスを行える歯科衛生士育成のための研修内容の検討、6. 介護保険施設向けパンフレットの作成、7. 介護施設へのアンケート調査、8. 介護保険施設向け相談票の作成、9. 求人票の検討、10. 講演会の実施、である。これらの取り組みにおいて、歯科衛生士等の専門職の事業所への配置を目的とした職業紹介などのモデル事業構築への指針が示された。

研究協力者

久保山裕子（福岡県歯科衛生士会 会長）
天本和子（福岡県歯科衛生士会 副会長）
池間カヨコ（福岡県歯科衛生士会 会員）
橋爪和恵（福岡県歯科衛生士会 会員）
田村文誉（日本歯科大学 准教授）
白瀉友子（日本歯科大学 医員）
石川健太郎（昭和大学 助教）

A. 研究目的

専門職に対する人材確保について、専門職、事業所に対するアンケート調査から得られた実態をもとに課題を抽出し、事業所における歯科衛生士の雇用を効果的に推進する対策を立案することを目的に、本事業を実施した。

B. 研究方法

福岡県内の介護事業所、歯科衛生士を対象とし、福岡県歯科衛生士会が主体となり、以下のモデル事業を実施した。

1. 通所施設における口腔機能向上モデル事業

2. 口腔機能モデル事業の歯科衛生士見学研修の実態
3. 口腔ケア関係の研修受講歯科衛生士への求職票送付、回収、リスト作成
4. 歯科衛生士求職者の検索システムの作成
5. 口腔機能向上サービスを行える歯科衛生士育成のための研修内容の検討
6. 介護保険施設向けパンフレットの作成：A3 見開き
7. 介護施設へのアンケートの送付、集計、分析：福岡県南地区 350 施設へ予定
8. 介護保険施設向け「口腔機能向上サービスに関する相談窓口」相談票の作成
9. 求人票の検討（在宅・事務局）
10. 講演会の実施

（倫理面への配慮）

対象事業所および個人に対し、本研究の主旨を口頭と文書にて説明し同意を得た。得られたデータは個人情報保護の観点から厳重に管理した。

C. 研究結果

1. 通所施設における口腔機能向上モデル事業

1) 施設との話し合い

話し合いに際し、施設説明用資料；タイムスケジュール、サービス内容を準備した。

2) 実施期間と場所

平成 21 年 12 月～平成 22 年 2 月の期間において、4 回／月実施した。実施場所は、久留米ふれあいの園である。

口腔機能向上加算モデル事業			
項目	日時	内容	メンバー
施設との打ち合わせ	11月10日	今後の流れについて説明	江崎、天本
	11月17日	実施内容の検討(介入の仕方) 対象者の選定の仕方と人数 歯科衛生士の介入回数について 施設の1日の状況の確認	久保山 江崎 天本
対象者選定	11月17日～	厚労省のアセスメント票使用 1. 関連職種による質問と観察	事業所
対象者決定	12月3日	対象者決定 アセスメント日程決定	江崎 天本
アセスメント	12月8日(火)	5人	江崎 五株
	12月14日(月)	10人	江崎 橋爪 天本
	12月16日(水)	9人	橋爪 平田
	12月17日(木)	3人	江崎
	11:00～14:00		
計画書作成	12月8日～ 12月21日		
計画書の説明と同意	12月14日	12月8日アセスメント分	
	12月16日 17日	12月14日アセスメント分	
	12月22日	12月16日、17日アセスメント分	
サービス開始	12月22日(火)	同意があった対象者	
	12月23日(水)		
	12月28日(月)		
	1月7日(木)		
	1月8日(金)		
職員研修	1月		
モニタリング	1月		
	11:00～14:00		
モニタリング	2月	1日は併せて、特養への指導へ	
	11:00～14:00	モニタリング	
評価アセスメント	3月		
	11:00～14:00		
報告会			

3) スタッフ研修会の内容

スタッフ研修会に際し、アンケート調査を行

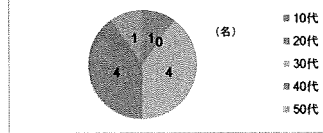
った。

アンケートの結果を以下に示す。

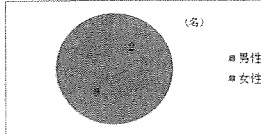
職員アンケート結果

1. あなた自身のことについてお尋ねします。

1) 年齢：・20代・30代・40代・50代・60代以上

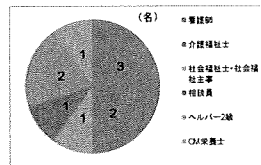


2) 性別：(男・女)

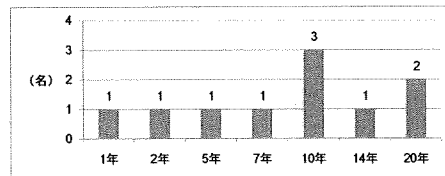


3) 資格：・看護師・介護福祉士・社会福祉士・社会福祉主事・相談員

・ヘルパー()級・その他() ※ 複数可

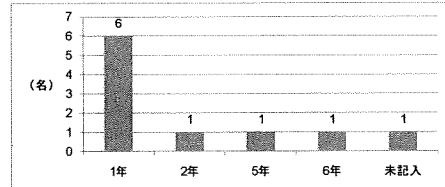


4) 看護、介護職としての勤務年数：約()年

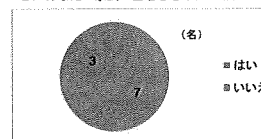


2. これまでの口腔ケア経歴についてお尋ねします。

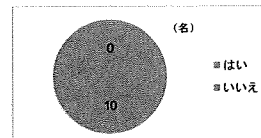
1) 患者(利用者)の口腔内の直接的ケアに関わってきた年数 約()年



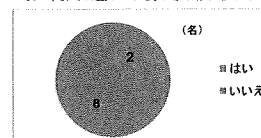
2) あなたの家族の歯磨きをしたことはありますか？ (はい・いいえ・おぼえていない)



3) 口腔ケアをして喜ばれたことがありますか？ (はい・いいえ・おぼえていない)

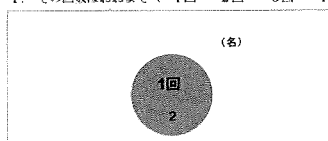


4) 今まで口腔ケアに関する研修に参加したことがありますか？ (はい・いいえ・おぼえていない)

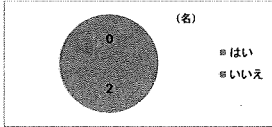


5) 4)で、はいと答えた方にお尋ねします。

1. その回数はおよそ(1回・2回・3回・4回以上)

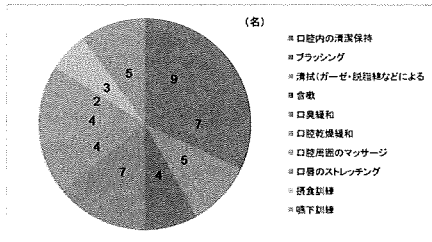


2. 口腔ケアの実技を含む研修を受けたことはありますか？ (はい ・ いいえ ・ おぼえていない)



3. 口腔ケアの実技について知りたいことはありますか？ 当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

- () 口腔内の清潔保持 () ブラッシング () 清拭 (ガーゼ・脱脂綿などによる)
- () 含嗽 () 口臭緩和 () 口腔乾燥緩和
- () 口腔周囲のマッサージ () 口唇のストレッチング
- () 摂食訓練 () 嚥下訓練



4. その他、何かありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

(社) 福岡県歯科衛生士会

2. 口腔機能向上モデル事業の歯科衛生士見学研修の実施

- 1) 期間；平成22年2月に4回実施した。
- 2) 対象；1回につき2~3名の歯科衛生士

2010年1月22日

関係者各位

福岡県歯科衛生士会 無料職業紹介所
モデル事業施設見学会 窓口：天本 和子

「ふれあいの園デイサービスセンター」見学会要綱

見学会の日程が決定いたしましたので、お知らせいたします。
当日は、ふれあいの園デイサービスセンター前に9時50分に集合してください。駐車場が施設敷地内にありますので、自家用車をご利用ください。
事前にお尋ねなどがありましたら、天本(09071639891)までご連絡ください。また、当日の緊急連絡は、現場担当歯科衛生士にお問い合わせします。

1. 準備品 エプロン・ナースシューズ 各自昼食とお茶は持参ください。

2. 見学日程

日にち	見学者氏名	担当歯科衛生士(緊急連絡先)
2月1日(月)	青柳・立川	江崎カヨコ・天本和子(09071639691)
2月2日(火)	白水・西木	江崎カヨコ(09031946255)
2月3日(水)	橋本・河野	橋爪和恵(09082205832)
2月15日(月)	久保・梶原	橋爪和恵
2月18日(木)	柴田・樋口	江崎カヨコ
2月22日(月)	児玉・上村	江崎カヨコ

3. タイムテーブル

時間	内容
10:00~11:40	事務連絡 口腔リハビリテーション
11:45~12:00	食前の健口体操(職員担当)
12:00~12:30	摂食状況観察・指導
12:30~13:30	歯磨き指導・ケア
13:30~14:00	事務処理(実施記録)

口腔機能向上サービス見学ツアー実施要領

実施時期：平成22年2月ごろ
実施施設：ふれあいの園デイサービスセンター
住所 久留米市城島町上青木165番地
申込資格：求人票を提出した方
上記施設まで、ご自分で来ることが出来る方
申込方法：求職票の見学申込書に記入し、福岡県歯科衛生士会に送り返す。

- ※ 見学者の人数は制限がありますので申込は先着順とさせていただきます。
- ※ 詳細につきましては申し込み後にお伝えいたします。

見学申込書

名前	
住所	
電話 FAX	
連絡先	日頃の調整など連絡が10:00~17:00にできる連絡先を教えてください 携帯 ・ 上記の電話 ・ 上記のFAX ・ 職場 ・ その他

(社) 福岡県歯科衛生士会 無料職業紹介所

〒801-0041 福岡市中央区大名1丁目12-43 福岡県歯科医師会館内

TEL・FAX 送信先 092-741-9036

申し込み締め切り 1月18日

3. 口腔ケア関係の研修受講歯科衛生士への求職票送付、回収、リスト作成

- 1) 口腔ケアリーダー研修会、学び直し研修、認定歯科衛生士、口腔ケア研修；168名参加

歯科衛生士の皆様へ

社団法人福岡県歯科衛生士会
会長 安河内ひとみ

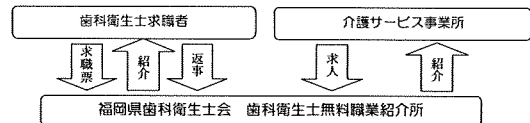
介護施設、介護予防サービスへの就業に関するお知らせとお願い

平素より福岡県歯科衛生士会の活動へのご協力をいただきまして感謝いたします。
この郵送物は下記の方々へお送りしております。

- ◇ 平成21年度の口腔ケア研修の受講者
- ◇ 口腔ケアリーダー研修修了者
- ◇ 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士
- ◇ 福岡医療短大主催の学び直し研修の受講者

このたび福岡県歯科衛生士会では厚生科学研究「口腔関連介護サービスに係る研究」の一部として、口腔機能向上のための人材育成、人材登録、人材紹介のモデル事業を行っています。口腔ケア研修を受けた方をバンク登録し、就業を希望される方には求職票を出していただき就業へつなげていくための事業です。

そこで今回は、事業所からの求人があったときに備えて求職者登録を行います。ご希望の方は同封の求職票にご記入のうえ福岡県歯科衛生士会へFAXまたは郵送してください。
ご希望に合った求人があった時に、無料職業紹介所よりご連絡いたします。就業ご希望の方は求職票を提出してください。



- * 今回の求職票は次回(平成22年度の6月ごろ)求職票を更新するまで有効とします。
- * 事業所・施設からの求人への対応となりますので、時期や求人数は不明です
- * 施設での口腔機能向上サービスの実施を見学ご希望の方はご連絡ください。(詳細裏面)

同時に介護支援事業者に対して、歯科衛生士を活用することで、高齢者の口腔機能が維持・向上できることをアピールし、サービス導入の後押しを行い、口腔機能向上の効果を理解していただくために次の事業を行っています。

- ① 高齢者施設の入所者の方々の口腔ケアを推進するために、施設を支援するための口腔機能維持管理推進事業。
- ② 通所で行う口腔機能向上を普及するために、事業所へのパンフレットの送付やアンケートなど

尚、改正になりました口腔機能向上の内容や新しく施設への加算として始まった口腔機能維持管理加算の情報につきましても同封の資料を参考にしてください。

4. 歯科衛生士求職者の検索システムの作成
 5. 口腔機能向上サービスを行える歯科衛生士育成のための研修内容の検討

1) 180分×4回(360分×2日)の研修会の実施

- 2) 口腔機能向上サービス現場の見学
 3) 口腔機能サービス実習：アセスメント、モニタリングなど4日間実施した。

6. 介護保険施設向けパンフレットの作成
 A3見開きサイズのパンフレットを作成した。

1) パンフレットの発送
 福岡県南地区350施設を対象に、パンフレットを発送した。

7. 介護施設へのアンケートの送付、集計、分析；福岡県南地区350施設へ送付した。

8. 介護保険施設向け「口腔機能向上サービスに関する相談窓口」相談票の作成

(社)福岡県歯科衛生士会 集料課兼新介所 行
 TEL/FAX 092-431-4577

「口腔機能向上サービスに関する相談窓口」相談票

相談日時	平成	年	月	日
事業所	名	姓		
	住	所		
	相	談者氏名		
	連	TEL	FAX	
相談内容				
希望回答	電話	FAX		

* 相談員からの返信は、火曜日・13:00～16:00に致します。
 * お問い合わせは、火曜日・13:00～16:00にお願いたします。

1) 福岡県南地区350施設へ送付した。

9. 求人票の検討

在宅・事務局向けに求人票を作成した。

求職票

※ファイル番号

介護施設用 (※は記入しないで下さい)

※受付日 平成 年 月 日		※在宅登録番号		※求職番号	
氏名	昭和・平成 年 月 日生	TEL	—	FAX	—
		携帯	—	e-mail	—
現住所	(〒)				
歯科衛生士免許	[登録年月日]	[登録番号]			
希望条件	就業形態 1. 常勤 2. パート 3. 日雇い：週に()日				
	業務内容 1. 介護予防 2. 口腔ケア 3. その他()				
	賃金 1. 常勤：月給()円				
	2. パート：時給()円 日給()円				
	3. 日雇い：時給()円 日給()円				
	就業地域 (市区町村単位で具体的に記入下さい)				
求人情報	1. 郵送希望 2. FAX希望 3. その他()				
経歴	出身校				
	経歴及び勤務年数				
	1. 年				
	2. 年				
	3. 年				
経験年数	1. 施設等()年 2. 口腔ケア()年 3. 高齢者()年				
	4. 集団指導()年 5. その他()				

10. 講演会の実施

歯科衛生士のための口腔機能向上研修会 企画案

企画理由：口腔機能向上サービスができる人材育成
 産学の研修会を行い、実践の場で歯科衛生士の業務を見学、手伝い、一部実習として行う。

回	日程	内容	講師
1	8月1日 180分	概論 Ⅰ 概論(1) 摂食嚥下障害とは Ⅱ 基礎知識(3) 摂食嚥下の生理 Ⅲ 加齢変化(2) 成人高齢期	吉佐先生
	60分	介護予防での歯科衛生士の役割 制度と歯科衛生士の役割	千綿先生：未定
	120分	口腔機能向上サービス内容 DVDを流す。 実際の歯科衛生士の業務内容 施設との打ち合わせ 利用者さんへのアプローチ	江崎
2	8月 22日 60分	アセスメント・個別計画 アセスメント実習 口腔機能向上に係る書類作成 口腔機能向上サービスの個別対応 口腔清掃支援・機能訓練 介護施設スタッフとの連携	古賀・梅爪・江崎・原口 天本

【実践研修】
 対象者：上記の研修修了者の中で求職票を提出している歯科衛生士
 過去に研修を受けたもので求職票を提出している歯科衛生士
 内容：アセスメント・フロンニング・モニタリング・口腔清掃支援・機能訓練
 期間：4回：1回 11:00～15:00
 場所：モデル事業実施施設 1か所：西地区

D. 考察

モデル事業を展開するにあたり、実施事業者と事業を直接担当する歯科衛生士の両者を対象に事業展開を行った。今回は、口腔機能向上・維持管理加算の推進に関して必要な基礎的調査を実施したが、福岡県内の多施設におけるデータや歯科衛生士の現状が明らかになった。本調査結果を指針とし、本格的なモデル事業の

展開へつなげたいと考える。

E. 結論

今回の研修により、これらの取り組みにおいて、歯科衛生士等の専門職の事業所への配置を目的とした職業紹介などのモデル事業構築への指針が示された。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 第 16 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会 発表予定

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

【報告の概要】

1. 事業全体の報告書
2. 事業デザイン
3. タイムスケジュール

1. 背景

新介護予防給付「口腔機能向上」サービスの提供件数は著しく低く、同サービスは普及・定着されていないのが現状である。平成19年度老人保健増進等事業による調査結果において「人材の確保・育成」が課題の一つとして挙げられた。

2. 目的

歯科衛生士の事業所への配置を目的とした職業紹介などをモデル事業として実施し、その成果と課題を分析する。さらに普及定着に必要な事業所についても調査し、推進方法を探る。

3. 方法

- 1) 口腔機能向上サービスのできる歯科衛生士の育成・登録・紹介システムの検討
- 2) 施設でのモデル事業の実施
- 3) 事業所の現状を把握するためのアンケートの実施
- 4) 事業所のためのパンフレットの作成・送付
- 5) 事業所のための相談窓口の設置

具体的な事業内容

歯科衛生士の育成・登録・紹介のために

- 研修会開催（3時間×4日＝12時間）
- 口腔機能維持管理加算等、新情報の発信
- 過去5年間の本会主催・協力の口腔ケア関係研修終了者への求職票の作成・送付・回収
- 求職者の施設見学会開催
- 求人票の検討・作成
- 検索ソフトの開発

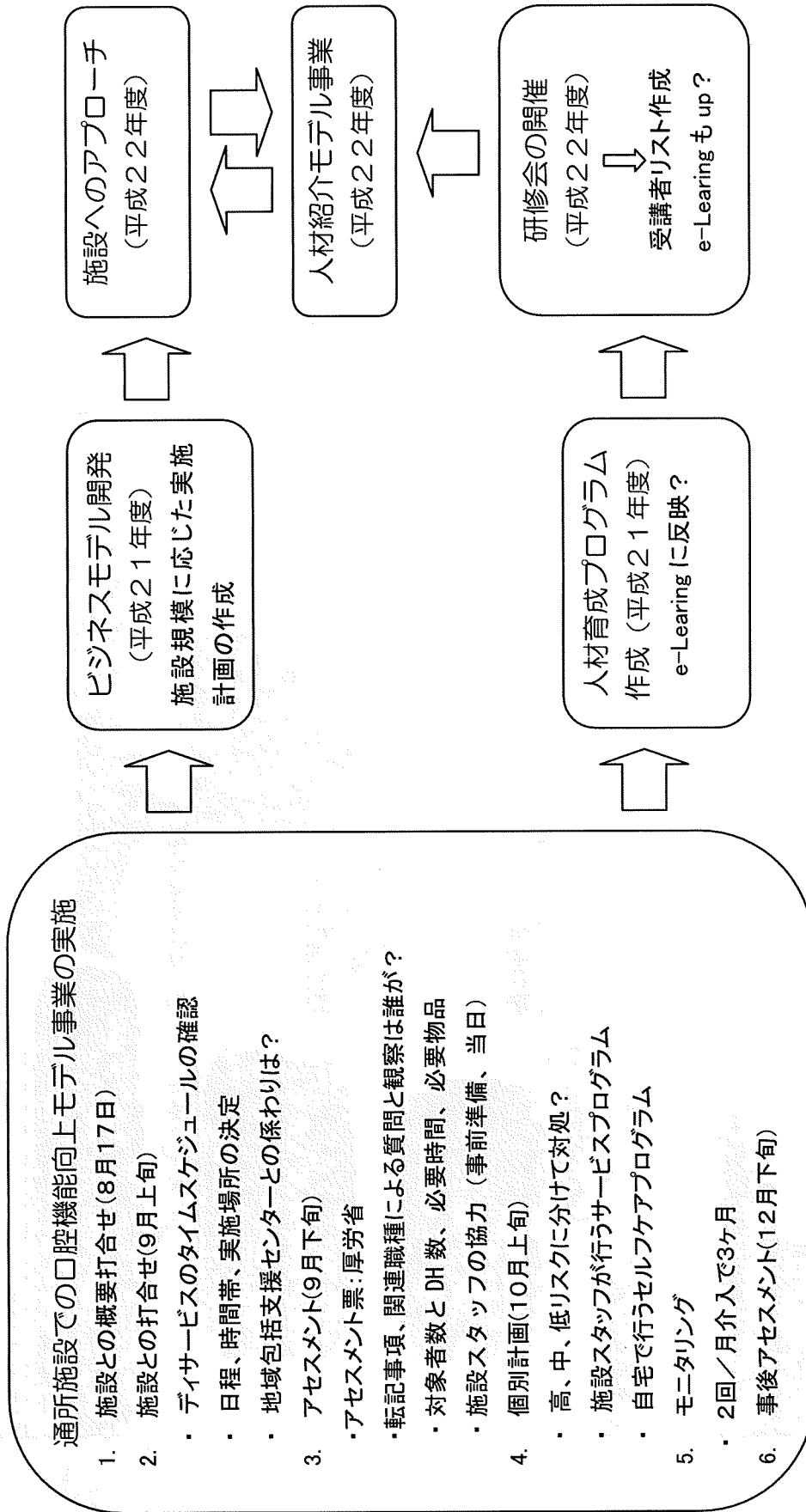
事業所への普及・定着のために

- モデル事業の実施 3か月間：1回/週
 - *スタッフ研修
- モデル事業実施施設のある県南地区介護予防施設325施設への送付
 - *パンフレット
 - *アンケート
- 相談窓口の設置：3月末から半日/週

4. 結果

- 1) 過去5年間に、本会が主催または後援する高齢者の口腔ケアに関する研修を受けた歯科衛生士178人が登録を行った。
- 2) 登録者の内35人が求職票を提出した。
- 3) モデル事業の見学会を開催したところ11人が参加した。
- 4) 平成22年3月より、週1回「事業所相談日」を開設し、事業所の相談に応じた。

介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究モデル事業デザイン



介護予防における口腔機能向上サービスの普及・定着に関する研究
平成21年度タイムスケジュール

		施設			H22年度		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
		実施			実施		
DHバンク登録	学びなおし受講者						
	研究会研修受講者						
求職者の登録	リーダー研修修了者・認定DH						
	求職票の作成		みずほ情報打合せ(担当:久保山)				6月 従来の登録者・本会員
			「新しい情報」作成				
		①送付案内 ②求人票について ③モデル事業について ④見学ツアー案内		求職票・新しい情報の発送		回収・名簿作成	
事業所へのPR					見学ツアー受付		
サービスでの口腔機能向上事業の実施(ふれあいの園)							
DH研修会							

①送付案内
②求人票について
③モデル事業について
④見学ツアー案内

使用機材
①アセスメント票・記録票
②ディスプレイ
③歯間ブラシ

①送付案内
②パンフレット
③アンケート
④相談票

対象者の選定
全員を対象にアセスメント票の「1関連職種による質問と観察」欄を記入(施設)
⇒人数と曜日の決定⇒DH救決定

DHによるアセスメント ⇒ 実施 ⇒ 事後アセスメント

次年度研修プログラムの検討

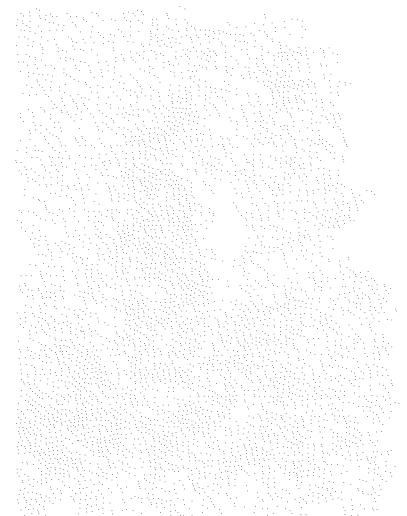
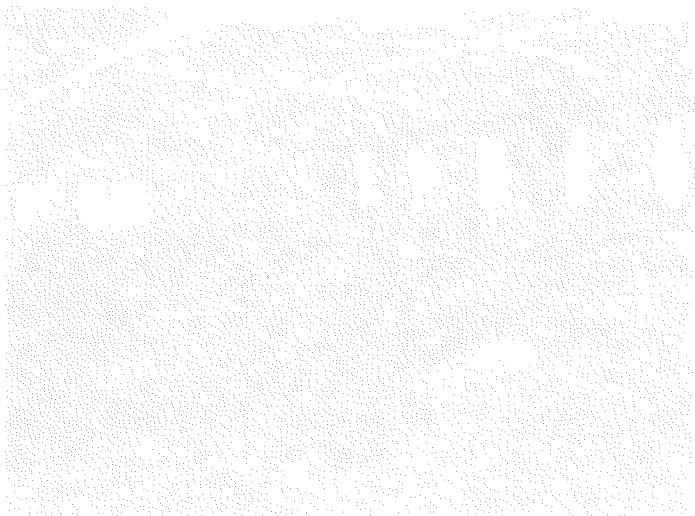
見学申込者への連絡

DH業務見学会実施

西支部

【人材育成事業】

1. 歯科衛生士研修会報告書
2. 研修会案内
3. 研修テキスト



平成 21 年度厚生労働科学研究事業

口腔ケア研修会報告

	日時	内容	講師	受講者数
第一回	平成 21 年 10 月 17 日 (土) 14:00~17:00	歯科衛生士の行うリハビリテーション 摂食嚥下の基礎知識 口から食べることの意義	九州歯科大学 教授 摂食嚥下機能リハビリテーション学分野 柿木保明先生	48名
第二回	平成 21 年 10 月 31 日 (土) 14:00~17:00	摂食嚥下障害 摂食嚥下の観察評価 摂食嚥下障害に対する訓練法	原土井病院歯科医長 岩佐康行先生	50名
第三回	平成 21 年 11 月 14 日 (土) 14:00~17:00	摂食嚥下の観察評価 情報収集とアセスメント 指導計画	福岡県歯科衛生士会 天本和子	31名
第四回	平成 21 年 12 月 5 日 (土) 14:00~17:00	摂食嚥下障害者の口腔ケア 口腔ケア導入のためのコミュニケーション 専門的口腔ケアの基本技術	福岡県歯科衛生士会 井上了子	34名



先生方の熱心な講義による研修と歯科衛生士による実習を行うことによって実践の場での活動に備えることのできる研修内容であった

平成 21 年度厚生労働科学研究事業

口腔ケア研修会のお知らせ

近年、高齢者の食やQOLを支える口腔機能の重要性が認められ、チームアプローチの中で、口から食べるために歯科は何ができるかが問われています。しかし、既卒の歯科衛生士は専門的口腔ケアについてほとんど教育を受けていません。そこで福岡県歯科衛生士会では高齢者、要介護者、後期高齢者医療制度などに対応できるよう、歯科衛生士のための口腔ケア研修を企画しました。市町村やデイサービスで行われている介護予防事業に従事している方、また、歯科衛生士として再度就業を始めようと思われている方もぜひご参加ください。

*** 歯科衛生士会会員の方は日本歯科衛生士会の専門研修(基礎研修)として認定を取るための単位が取得できますので会員証をお持ちください。各回会員証で受付を行います。**

*** 4 回すべてに出席された方には修了証を発行します。**

	日時	内容	講師
第一回	平成 21 年 10 月 17 日 (土) 14:00~17:00	歯科衛生士の行うリハビリテーション 摂食嚥下の基礎知識 口から食べることの意義	九州歯科大学 教授 摂食嚥下機能リハビリテーション学分野 柿木保明先生
第二回	平成 21 年 10 月 31 日 (土) 14:00~17:00	摂食嚥下障害 摂食嚥下の観察評価 摂食嚥下障害に対する訓練法	原土井病院歯科医長 岩佐康行先生
第三回	平成 21 年 11 月 14 日 (土) 14:00~17:00	摂食嚥下の観察評価 情報収集とアセスメント 指導計画	福岡県歯科衛生士会 会員
第四回	平成 21 年 12 月 5 日 (土) 14:00~17:00	摂食嚥下障害者の口腔ケア 口腔ケア導入のためのコミュニケーション 専門的口腔ケアの基本技術	福岡県歯科衛生士会 会員

定 員：40 名 (先着順)

会 場：大牟田歯科医師会館 (大牟田市不知火町 2 丁目 1 4 9)

受講料：1・2 回目 会員 2000 円 未入会者：4000 円

3・4 回目 無料 但し材料・資料代として 2000 円徴収します

(会員の方は歯科衛生士会が 1000 円補助)

申込方法：裏面の申込用紙を記入し、FAX にてお申し込みください。

FAX 092-741-9036

申込締切：平成 21 年 9 月 20 日

問い合わせ先：福岡県歯科衛生士会 092-741-6512

※ 月・水・金曜日の 10:00~16:00 でお願いいたします。